

# 公立幼稚園・公立保育所の考え方

(新箕面市アウトソーシング計画から抜粋)

## 方針 1

### 公立認定こども園の設置をめざす

- 3歳児保育の実施や保育ニーズ・多様な就労形態に即した保育機能を備えた施設が望ましいことから、公立幼稚園と保育所がともに役割を補完しあえるよう「公立認定こども園」の設置をめざす。
- 地域バランスも考慮した上で、公立幼稚園・保育所8園所を再編し、西部・中部・東部に1園ずつ公立認定こども園を設置する。

せいなん幼稚園	せいなん幼稚園の施設を活用し、3～5歳児のみ(定員125人*)	(仮称)せいふ認定こども園
かやの幼稚園	萱野保育所・かやの幼稚園の施設を活用し、0～5歳児(定員193人)	(仮称)ちゅうふ認定こども園
なか幼稚園	萱野保育所・かやの幼稚園と統合	
とよかわみなみ幼稚園	とよかわみなみ幼稚園の施設を活用し、3～5歳児のみ(定員125人*)	(仮称)とうふ認定こども園

\* (仮称)せいふ認定こども園と(仮称)とうふ認定こども園の定員については、就学前人口の動向を踏まえ、設置時に最終決定していく。

- 「支援教育」「医療的ケアが必要な子どもの受け入れ」「虐待リスクの非常に高い子どもの受け入れ」については、これまで、主に公立が担ってきたが、将来的に私立でもその役割が担えるよう、これまで公立が培ってきたノウハウを私立に対して継承するための体制を整える。
- 「重度の支援児の受け入れ」及び「虐待リスクの非常に高い子どもの緊急受入枠の確保」については、公立が積極的に担い、「中・軽度の支援が必要な子どもの受け入れ」については私立が担うことで、私立におけるノウハウの蓄積を進めていく。
- なお、公立認定こども園の設置に関しては、就学前人口減少時の調整弁としての機能を果たすことを前提とし、将来的には規模縮小・廃園、民営化の対応策を講じる。

## 方針 2

### 民営の乳児特化型保育園の設置をめざす

- 既存の施設を活用して、0～2歳児の乳児特化型保育園として民営化をめざす。

福保育所	令和5年度(2023年度)から民営化	
桜ヶ丘保育所	乳児特化型保育園として民営化	就学前人口減少時の調整弁として、保育を必要とする子どもの数の減少といった状況によっては、廃止も検討する。
萱野保育所	かやの幼稚園・なか幼稚園ととも公立認定こども園化	(仮称)ちゅうふ認定こども園
東保育所	乳児特化型保育園として民営化	就学前人口減少時の調整弁として、保育を必要とする子どもの数の減少といった状況によっては、廃止も検討する。

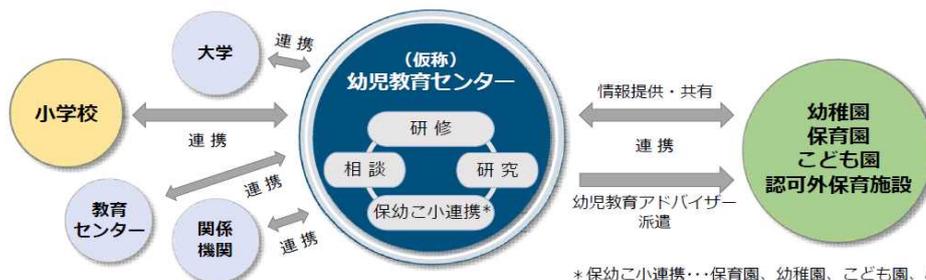
- これまで主に公立が担ってきた「支援教育」「医療的ケアが必要な子どもの受け入れ」「虐待リスクの非常に高い子どもの受け入れ」などについては、引き続き、公立がその役割を担うが、将来的に私立でもその役割が担えるよう、これまで公立が培ってきたノウハウを私立に対して継承するための体制を整える。

## 方針 3

### (仮称)幼児教育センターの設置をめざす

- 箕面市の就学前教育・保育の更なる質の向上をめざし、公私や施設種別に関係なく、研修など様々な取組が実施できるよう、全体コーディネーターの役割を担う(仮称)幼児教育センターの設置をめざす。
- (仮称)幼児教育センターについては、以下の取組の実施に向け検討を進める。
  - 幼稚園教諭・保育士への支援教育や子どもの安全に関する研修の実施
  - 幼児教育アドバイザーによる園所の巡回・相談受付・情報提供の実施
  - 子どもたちが安心して小学校へ通うことができるよう、園所から小学校へ円滑な接続に向けた取組の実施
  - 幼稚園教諭・保育士の不足に対応する人材バンク(人材登録制度)の設置
  - 私学の建学の精神や特色ある保育・教育を尊重しながら、公私・施設種別を超えた情報交換の場の提供

### ■ (仮称)幼児教育センターのイメージ(案)



\* 保幼こ小連携...保育園、幼稚園、こども園、小学校の連携